

マネー・マーケット・ファンド（MMF）の強靱性向上 のための政策提案に関するFSBの市中協議

金融安定理事会（FSB）は、本日（2021年6月30日）、マネー・マーケット・ファンド（MMF）の強靱性を向上させるための政策提案を内容とする市中協議文書を公表しました。これらの提案は、ノンバンク金融仲介（NBFI）に関するFSBの作業計画の一部をなすものです。

FSBの2020年3月の市場の混乱についての包括的レビューは、MMFの構造的な脆弱性と、短期金融市場における関連するストレスを浮き彫りにしました。MMFは、突然かつ破壊的な償還請求を受けやすい性質を有し、特にストレス状況下において、資産売却の困難に直面する可能性があります。これらの特徴は、個別のMMF、さらには全MMFセクターが取付け騒ぎ（run）を受けやすくし、システム全体の脆弱性を引き起こす可能性があります。

市中協議文書における政策オプションは、これらの脆弱性に対処することを目指すとともに、各法域における改革や、証券監督者国際機構（IOSCO）が作成したMMFに関する政策提言に対する必要な修正の内容を示すことを意図しています。MMFの強靱性を高めることは、システムミック・リスクに対処し、将来、中央銀行が当該セクターを支えるための例外的な介入を行う必要性を最小限に抑えることに資するものです。

政策オプションは、MMFの強靱性を向上させることを目的としたメカニズム — すなわち、償還を行う投資家によるコスト負担、損失吸収、閾値効果の減少、そして流動性変換の減少 — に応じてグループ分けされています。市中協議文書は、各オプションがMMF投資家、ファンドマネージャー及びスポンサーの行動に与えると思われる効果や、投資対象資産の取引市場における影響を分析しています。

市中協議文書は、また、様々なタイプのMMFが生じさせる全ての脆弱性に対処するために、異なる政策オプションをどのように選択し、組み合わせることが可能かも検討しています。最適な組み合わせは、法域固有の状況や政策の優先順位を考慮に入れるべきですが、同時に、法域間で異なったアプローチを採用することで生じる可能性のある規制裁定を防止することを含め、クロスボーダーの考慮を行う必要があります。

MMFの強靱性を向上させる政策は、2つの分野における追加的な改革を伴うことが考えられます。1つは、ファンドマネージャーによる強力なリスク管理や、当局によるリスクのモニタリングを支援する政策。2つ目は、投資対象である短期金融市場の機能を改善する措置です。

市中協議に対する回答は、8月16日までに、件名を「MMF policy proposals」として、fsb@fsb.orgまで送付してください。回答者が希望しない限り、全ての回答はFSBのウェブサイトで公表されます。最終報告書は、2021年10月に公表される予定です。

Note to editors

FSB は、2020 年 3 月の市場の混乱についての包括的レビューを公表し、NBFI セクターがもた
らす便益を維持しつつ、その強靭性を強化する包括的かつ野心的な作業計画を提示しました。
MMF の強靭性向上のための本政策提案は、この 2021 年の作業計画の主要な成果物の 1 つで
す。

提案は、FSB と IOSCO のメンバー当局における専門家で構成された、FSB MMF 技術的専門家
グループ(Technical Expert Group / TEG)によって作成されました。TEG は、国際決済銀行
(Bank for International Settlements) と米国証券取引委員会 (US Securities and Exchange
Commission) が共同議長を務め、FSB と IOSCO の共同事務局がこれをサポートしました。
TEG は、提案を作成するに際して様々な情報源からの情報を分析し、ステークホルダーとの対
話を実施しました。

(FSB 一般に関する説明は省略)